

伝統ある白糠小学校の歴史に幕、「自立」と「共生」の白糠学園へ

前期課程の予定です

白糠小学校 校長 滝川 敦善

7月に入り、6年生は網走方面での修学旅行、5年生はネパール厚岸での宿泊研修を行いました。どちらも泊をとまなう大切な行事であり、家庭や学校生活とは違う環境の中で、「自ら学ぶ」「友と学ぶ」体験ができたことが帰校後の感想から伺えました。また、19日には、白糠小学校お別れセレモニーを行いました。児童会が中心となった「白小歴史〇×クイズ」では、138年の歴史に重みを感じるとともに、学校が閉じることにさみしさを感じた児童や教職員もいたのではないのでしょうか。



白小お別れセレモニー

今学期をもって白糠小学校の歴史に幕を閉じることとなりますので、紙面をお借りし伝統ある白糠小学校の138年の歩みにふれたいと思います。白糠小学校は、簡易教習所として明治18年1月に開校され、明治、大正、昭和、平成、令和の5つの時代を経た釧路管内でも有数の伝統校です。この間、多くの戦火を潜り校舎も六回の新改築を重ね、現在に至っています。開校当時21名だった児童数も、昭和30年代には1600名以上と大人数・大規模校化を経て、現在108名の在籍となっております。開校以来、「自律・敬愛・不屈」の精神で12,000人も卒業生を輩出し、現在もなお多くの同窓生が町内外で活躍されております。本校がその歴史を積み重ねることができたのも、その時代時代の子供達や地域や保護者、そして教職員のたゆまぬ努力の賜物であり、敬意を表したいと思います。

さて、8月20日には、義務教育学校「白糠町立白糠学園」が開校し新しい歴史を刻むこととなります。保護者説明会でもお伝えしたとおり、白糠学園の教育理念は「自立」と「共生」です。白糠学園では、夢や希望の実現に挑戦し、自らの未来をしなやかに、たくましく切り拓く人を育みます【自立】。ふるさとを愛し、多様性を尊重し、ともに支え合い持続可能な社会を形成する人を育みます【共生】。白糠学園は、白糠小学校138年、白糠中学校75年の伝統を引き継ぐとともに、「自立」と「共生」を教育理念に掲げ、義務教育9年間の一貫性・継続性を重視した教育課程を通して、本校の子どもたちに「知」「徳」「体」の健やかな成長を促し、豊かな人間性と社会性を育ててまいります。保護者・地域・関係機関のみなさまにおかれましては、白糠小学校・白糠中学校と同様にご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本校は、本日1学期の終業式を迎えました。明日から25日間の夏休み(8月19日と20日は登校日となります。)となりますので、保護者のみなさまにおかれましては、感染症や事故等に十分に気をつけ有意義に過ごすことができるようお子さんにご指導をお願いいたします。

月日	曜日	日課表	生活	8月行事
1	月			
2	火			
3	水			
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月			学校閉庁日
9	火			学校閉庁日
10	水			学校閉庁日
11	木			山の日
12	金			学校閉庁日
13	土			
14	日			
15	月			
16	火			
17	水			
18	木			
19	金			前日登校日
20	土			白糠学園開校式・記念式典・祝賀会
21	日			
22	月			2学期始業式
23	火	変則		
24	水			
25	木			
26	金			スクールバス指導 児童委員会
27	土			
28	日			
29	月			ノーゲーム・デー
30	火			
31	水			

学校 HP へ



【いじめアンケートから】

第1回の「いじめ把握のためのアンケート調査」です。

4月から5月末まで「嫌な思いをしたことがある」と答えた人数は、31名でした。そのうち、「今も嫌な思いをしていますか」と答えた人は、15名でした。

「どんなことをされましたか」という問いに対しては、「冷やかしかからかい、悪口をいわれる」が最も多く、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたりする」「仲間はずれや無視をされる」「ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする」の順に多かったです。

調査後、速やかに担任が児童と面談を行い、実態把握に努めました。面談後は保護者の方へ報告させていただいたところです。いじめはどの学校でもどの学級でも起こり得ることを前提に、積極的な認知に取り組むことが大切です。多様化するいじめ問題に対しては、学校と家庭が同じベクトルで関係性を築いていかなければなりません。学校が不明瞭な対応をしていると信頼関係が傷つき、事態を深刻化させてしまう恐れがあります。学校と家庭がより緊密に連携していきたいと考えますので、今後ともよろしく願いいたします。

なお、オンラインゲーム等でのネットいじめの報告はありませんでした。一方、放課後の公園などでからかいや悪口、しつこくちょっかいをかけられるといったことがありますので、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

学校では、担任からの学級指導に加え、生徒指導部からの「やんちゃぼうず」を発行します。文書をご覧いただくとともにお子さんへの指導に役立てていただくとありがたいです。

【さようなら白糠小学校】

19日（火）の5校時に「白糠小学校お別れセレモニー」を行いました。

白糠小学校の校舎とも1学期でお別れです。全校児童で校舎に感謝する気持ちをもって過ごしました。

校長先生からは白糠小学校の歴史として、

「1600名を超える子ども達が通っていたこと」

「学校が6回も新しくなったこと」等をお話されました。

代表委員会が企画した「白糠小学校〇×クイズ」が行われ、白糠小学校の歴史にまつわるクイズでとても盛り上がりました。

代表委員会のメンバーは、企画・運営に一生懸命頑張りました。全校児童を動かす、楽しませるのはとても大変だったと思いますが、やりがいを感じる機会だったと思います。ご苦勞様でした。

また、セレモニーでは、白糠小学校の校歌と白糠学園の校歌を歌いました。白糠小学校の校歌を歌うのは最後となりました。子ども達の歌声を聞き、とても感慨深いものがありました。

来月からは新校舎での学習が始まります。新しい生活の中で、多くのものを吸収し、大きく成長してほしいと思っています。



【白糠学園の校歌を学びました】

11日（月）白糠学園の校歌を作曲した「大久保光哉」さんが来町し、白糠小・中学校を訪れ、校歌を指導してくださいました。

校歌に秘められた思いを話されたり、歌詞の意味を聞いたり、体全体で表現しながら歌ったりと子ども達は先生さんの指導に引き込まれていきました。

子ども達の歌声が変化していく様子を目の当たりにすることができました。

この日の指導を生かして、8月20日（土）の開校式には、全校児童生徒で校歌を披露することになります。当日がとても楽しみです。

1～4年生の練習の終わりには、4年生の松田わかなさんが感謝の言葉を述べました。

松田わかなさんの言葉です。

「今日は、お忙しい中、白糠小学校に来ていただき、ありがとうございました。1～4年生は音楽の授業などで先生さんにつけていただいた校歌を何度も練習しました。

弥音先生や山田先生が上手に教えてくれるので、私はとても上手になったと思っています。

8月からの白糠学園でも校歌の歌詞を大切に、美しく元気よく、歌えるように頑張ります。今日はありがとうございました。

